

ちょっといい話 みんなおいでよ!

産直母ちゃんハウスだあすこ沿岸店

毎月11日は感謝デー

沿岸店では、毎月11日にお客様への感謝の気持ちを込めて感謝デーを開催しています。

沿岸店おすすめの品物を特別価格で販売!



食堂では、「絆カレー」を販売(350円)!



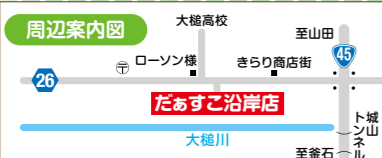
ボンディアソフトクリームは通常300円のところ250円で販売!



11日は、我々にとって特別な日で、決して風化させてはいけない日。今ここで、多くの人に支えられて営業できているという感謝の気持ちを込めて地元の新鮮な食材をサービス価格で提供します。農業と地域の活性化の拠点として多くの人たちに愛される店舗を目指し、地域とともに歩んでいきます。

母ちゃんハウスだあすこ沿岸店 藤原吉秀店長

周辺案内図



大槌町大槌16-28 ☎0193-42-8151
 駐車場:普通車25台・マイクロバス2台
 営業時間:4月~11月 午前9時~午後6時
 12月~3月 午前9時~午後5時
 ※定休日は年末年始と第2木曜日を基本としていますが、祝祭日と重なった際は変更する場合があります

CONTENTS

ぼらーの花巻 ●No.221 / 平成28年(2016)7月号

- 02 ぼらーのCOVER STORIES
- 04 愛農土に生きるII
- 04 特集 活力あるJAいわて花巻を創る組合員意向調査
- 08 ぼらーのNEWS ●地域の話
- 10 あぐりネット
- 12 がんばる青年部/食と農の掲示板
- 13 旬の産直大百科/ぼらーの広場
- 14 information ●役員室より/理事会だより/監事会だより
- 16 風趣点景 ●管内四季だより/編集後記

- 1.平成28~29年度の新役員。満面の笑みが絆の固さと意欲的な取り組みを象徴させる2.1年を通した多品目栽培に向け、定期的に開催する栽培講習会や園芸相談会
- 3.震災後から続けている仮設住宅などをまわる移動販売
- 4・5.平成28年1月15日のオープン時。農業と人を繋ぐ拠点として、地域の活力となれるよう活動を展開する

今年1月、産直母ちゃんハウスだあすこ沿岸店が希望のオープンを迎えた。その店舗内に色とりどりの農作物を並べ、にぎわいを加えているのがJA沿岸産直部会。会員たちの笑顔と明るく前向きな姿は、人にパワーを与え、地域に活力をもたらす。

東日本大震災後、沿岸地域の農業者たちは生産すらままならない状況の中、農業を諦めず、踏ん張り続けた。震災

から3年経った平成26年2月、念願の部会が立ち上がったものの、主となる販売場所は無く、開店までの2年は通年出荷用の作物栽培に取り組みながら、仮設住宅をまわる移動販売や仮設店舗での販売、片道2時間かけ花巻市の母ちゃんハウスだあすこへ出荷を続けた。

現在は園芸相談会や研修会を開き、珍しい作物などと組み合わせられた少量多品目栽培

で、通年の充実した陳列を目指し奮闘中だ。研修会後は会員同士で苗のやり取りや、情報交換が続く。多くの苦労を強いられた過去を受け止め、常に挑戦、前を見つめて進む姿勢が会員たちから輝きを放たせるのだろう。その原動力の源を会員に問うと、間髪入れずに返ってきたのは、「販売できる場所がある喜びと、少しずつ強くなっていく仲間との絆、お客さんとの交流。」

という言葉だった。開店から半年、佐々木良子会長(写真1中央)が語る「店舗や農作物から、人を感じ、顔が見え、思いが伝わるような産直を皆で作りたい。」という未来に向かって、母ちゃんハウスだあすこ沿岸店は新鮮野菜販売に加え、農業を通じて、人と地域が繋がる場所への進化を目指す。会員たちの前向きで強い志とともに、前に進み続けながら。

震災から5年。母ちゃんハウスだあすこ沿岸店に溢れる笑顔。ここは、農業と地域と人を紡ぎ、結ぶ場所。

JA沿岸産直部会 ●大槌町大槌



【部会データ】JA沿岸産直部会会員は、産直母ちゃんハウスだあすこ沿岸店への出荷者で構成し、大槌町を中心に釜石市の生産者や地元加工会社(団体含)など約100人が登録している。通年の充実した陳列を目指し多品目栽培に力を注ぐ。地産地消活動の推進も活発で学校給食や地元ホテルへも農作物を提供している。地域に根ざした産直店として仮設住宅を中心にまわる移動販売も行って、店舗まで足を運べない消費者から好評を得ている。